

キャンパスライフへの
キックオフ!
KICK OFF!

自分の市場価値を知る

山本喜則



この標題を満たす解を得るにはどうすれば良いのか、実はなかなか難しい。経済学部卒業となる諸君の場合、経済学科、経営学科のどちらかの出身になるから皆が似たような分野に進出するかどうかと、承知のようにある意味バラバラ、いや多様性に富んでいる。この点は理系より広いかも知れない。そんな様々な分野で人の能力を評価する方式が同じである筈もなく、自分がそれを知りた

いときにはそれぞれの世界に住み着いてから周りを見回し情報を得ていくしか無いのだろう。で、閑話休題にすると片面の半分も行かなくて、空いたスペースに大きな写真を載せなければならなくなるのも少し続ける。

狭い世界でも隣近所と（少なくとも一見は）仲良くやり、自分の持ち分を果たしながら歳をとっていく。小さな共同体で一生を過ごすしかなかった時代ならともかく、どこにでも移動が

でき新しい世界に入っていくことができる現代日本社会は騒々しく賑やかであると覚悟を決めた方がいい。大体、静かに生きていけると期待した狭い世界が静かである保証もなく、何か起こるのが人の

世だから、それなら正々堂々正面からぶつかって行けるチカラをつけていこうではないか。そのとき世に打って出るためにこそ、客観的に評価された実力が試されるし必要になる。自分の力量を客観的に評価されることは痛みを伴うことが多い。不愉快な思いもするだろう。しかし、正当に回答を与えてくれるシステムが周

囲にあるなら躊躇するべきではないだろう。あとそれが生きるときが必ずある。

とは言え、客観的に高い評価を得られる力量を身につけるのは、もちろん簡単でないからどうするか。人は一定の立場や年齢になったとき教えてもらえる機会が減ってくる。聞くことができなくなる人もいる。むしろ教えなくてはならなくなる。そのための、早くから自立的、自律的にものを考えよう。情報のチャネルは多い方がいい。身近な家族は大事だけれども社会の見方まであまり強く影響され続けているのは自分の考えを確立することができない。取捨選択の能力を磨こう。そして、何より他と違った自分の専門、specialityを身につけなくてはならない。あなたは何ができますか、特別にありません、では話はそこで終わってしまう。日々是精進！ 努力に幸あれ。

YOSHINORI YAMAMOTO

経済学部教授。経営学科所属。学部の講義では演習の他、情報基礎と情報処理、大学院Mでは情報処理研究、同演習、Dではソフトコンピューティング特別演習を担当。自分のことを語るのはあまり好きではないので仕事上のことのみ。柔道部顧問（なんとか現役）、応援団顧問。ゼミでの様子などからみた印象は上級生に聞いてください。